

まちの話題

より早く、より安全に
心・技・体を磨く



①隣の建物などへの進入を想定したロープブリッジ救出 ②災害建物へ進入するはしご登はん ③地下やマンホールでの災害を想定した引揚救助 ④⑤地下街などでの救助を想定したほふく救出

6月11日、いわくに消防防災センターで「第47回山口県消防救助技術大会出場に伴う消防長訓練査閲」が実施され、大会出場者を含めた岩国地区消防組合の隊員が日頃の訓練の成果を披露しました。

隊員は、ロープブリッジ救出や引揚救助、ほふく救出、ロープ応用登はんなどの県大会出場種目を披露しました。

また中国地区消防救助技術指導会出場種目の障害突破や新人職員による展示訓練も行い、次々と要救助者を救助するなどして息の合った連携を見せました。



暮らしを整える 手段として

5月12日、玖珂中央コミュニティセンターで「心地よい暮らしを作る片付けと収納講座」が開催されました。講師の柴田さちこ氏は「片付けや収納は、暮らしを整える手段です。小さな達成感を積み重ねながら、続けていきましょう」と話しました。参加者からは自宅の問題点を解決するため、多くの質問が投げ掛けられていました。



登山で、すがすがしい気持ちに

5月9日、梶形山登山が開催されました。一般参加者18人が参加し、周東町の中田地区にある梶形山に登りました。

当日は気温も高く険しい道のりでしたが、無事登りきることができ、歩き終わった参加者たちの表情は達成感に満ち溢れていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



想いを、カタチに 文字で創るアート展

4月28日～5月23日、由宇歴史民俗資料館で由宇町出身の^{あし}葦手絵師TOMOKO氏の「文字で創るアート展」が開催されました。平安時代に生まれた「葦手描き」の画法で、文字や人物、アルファベットなどを組み合わせ、現代風にアレンジした謎解きのようなアートに鑑賞者は引き込まれていました。



みんなで レッツダンシング！

5月15日、本郷ふるさと交流館で第2回子供体験教室「みんなと一緒にレッツダンシング」が開催されました。美和町のファニーメールダンスクラブから講師を迎え、参加者は講師の振り付けに習い、人気グループ歌手の曲に合わせて楽しく踊っていました。

最後はグループごとにダンスの練習の成果を発表しました。



光の美しさを 楽しみながら

5月19日、錦町のきらら夢トンネルでノルディックウォーキング体験教室が開催されました。トンネル内はひんやりとして心地よく、幻想的な光が見え始めると、思わず足を緩める参加者もありました。

トンネルを抜けると、山の緑と清流宇佐川を臨む爽やかな景色に変わり、いつもとはちょっと違ったコースで初夏を楽しみました。



1本1本、丁寧に植えました

5月28日、美和東小学校と美和西小学校で田植えの体験授業が行われました。この授業は両小学校の5年生を対象に毎年行われており、苗を手で1本1本植えていく昔ながらの方法を地元の人に教えてもらいます。児童たちは田に張った水の冷たさに歓声を上げつつも、列をそろえて丁寧に植えていきました。



遊びは学びの礎 おもちゃは心の栄養

6月8日、中央公民館で「七歳までは夢の中～絵本とおもちゃで広がる子どもの世界のお話～」が開催されました。幼児期の子供にとって、おもちゃで遊ぶことは自ら考えるきっかけや自信になるという講師の話に、参加者は親子で一緒に遊びながら耳を傾け、自由で楽しい講座になりました。



いつまでも 健康を保つために

5月28日、美川コミュニティセンターで今年度最初的美川カレッジが開催されました。今回の講座はヤクルト健康教室で、15人が参加し、フレイル予防について学びました。長引く自粛生活の中で健康を保つための食事の取り方や予防のための生活習慣について学んだ後、体と頭の体操をし、元気いっぱい講座になりました。